



0.7L

標準塗り面積 (1回塗り)
2.9~5.8㎡
タタミ1.8~3.5枚分

乾燥時間
夏期/30分~1時間
冬期/ 2~3時間

塗り重ね時間の目安
夏期/2時間以上
冬期/6時間以上

塗りにくいときは
水
(5%以内)
でうすめて下さい

無鉛塗料
鉛・クロム化合物は
使用していません。

注意書きをよく読んで
から使用して下さい。



Garden Paint 水性ガーデンペイント Colors for your hand made gardening.

簡単なサビ落としだけで鉄部に直接塗れる

用途



●この容器は、水を加えてかき混ぜられるよう、多少大きめに作られています。
●表示している色、ツヤおよび容器の中の色は、乾いてからの塗料の色と多少異なる場合があります。

商品名 水性ガーデンペイント **品名** 合成樹脂塗料(水系)
成分 合成樹脂(アクリル)、顔料、サビドメ剤、防カビ剤、水
特長

- 速乾性の非常に塗りやすい塗料で、落ち着いたシルク調のツヤに仕上がります。
- 塗膜は、耐水性・防カビ性に優れ、長期間素材を守ります。
- 防錆性に優れ、釘の頭などの鉄面にも簡単なサビ落としだけで直接塗ることが出来ます。

用途

ラティス・トレリス・プランターなどのガーデン用品、家具・窓枠・インテリア小物・工
作品などの木部・木製品や鉄製品、コンクリート・レンガ・ブロック・素焼きの鉢など。
※**絶えず水がかかったり水につかるところや、いつも湿っているところ、また
床面には適しません。**

塗装方法

- ① はがれかかった古い塗膜は、皮スキ・ワイヤーブラシ・サンドペーパー
などを使用して充分に取り除きます。
●浮きサビは、ワイヤーブラシ・サンドペーパーなどを使用して取り除きます。
●塗る面のゴミや汚れを取り、カビはカビ取り剤で、油分はペイントうす
め液で拭いてよく落とします。
- ② 塗料がついて困るところは、あらかじめマスキングテープなどでお
おっておきます。
- ③ 塗膜のフクレ・ハガレ防止のため、下地に応じて右の下地処理を行います。
- ④ フタに手をそえて、フタと容器の間にマイナスドライバーなどを差し
込んで開け、棒などで塗料を底から充分にかき混ぜて均一にします。
- ⑤ 塗料の粘度が高く塗りにくいときは、水で少し(5%以内)うすめます。
●コーナーや塗りにくいところは先にすじかい(ケ)で塗ります。広い面積のこ
ころはローラー・バケ・コテバケなどを使うと早く楽に塗ることが出来ます。
※**錆びた鉄部や吸い込みの激しい木部には2回塗りをして下さい。**
●マスキングテープは、塗料が手につかなくなったらはがします。
- ⑥ 塗装後1日以上、充分に乾燥させます。不十分な場合、水がかかったり、雨や
結露によって塗膜が流れたり、ハガレやシミの原因になることがあります。
※表記の乾燥時間は半硬化(指でこすって跡がつかない状態)の時間です。

用具の手入れ方法

塗料が乾かないうちに、水か湯で洗って下さい。

保管上の注意

- ① 幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食したすらをしないように
注意して下さい。
- ② 直射日光や火気のある場所、-5℃以下になるところ、自動車
内などの温度が高くなる場所、容器がさびやすいところには置かない下さい。
- ③ 残った塗料は、しっかりとフタをしめて保管し、できるだけ早く使い切ってください。

取扱い上の注意

- ① 表示の用途以外に使用しないで下さい。
- ② 体調の悪いとき、アレ
ルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。
- ③ 目に入ったり、皮膚に付着しないよう、
また誤飲しないよう注意して取扱って下さい。皮膚に付着したまま放置すると炎症を起こすこと
があります。必ず保護手袋を着用して下さい。
- ④ 天気の良い日に塗って下さい。塗るとき及び
塗った塗料が乾くまでの間も、5℃以下にならないような時間に塗って下さい。
- ⑤ 室内で塗るとき
は、塗装中、乾燥中とも換気を良くし、その後も塗料の臭いなくなるまでは、ときどき換気して
下さい。
- ⑥ 塗料についても支障がない服装で作業して下さい。
- ⑦ うすめすぎたり、うすく塗
りすぎると、うまく仕上がらない場合があります。
- ⑧ 新しいコンクリートやモルタル面に塗る場合
は、施工後1ヶ月以上経ってから塗って下さい。
- ⑨ 常に水の溜まるところには適しません。シリコ
ン系・フッ素系・その他の特殊防水処理をした面や、シーリング材等の一部には、塗料が付着しない
ことがあります。
- ⑩ あらかじめ目立たない部分で試し塗りをして、色・乾燥性・下地への影響・密着
性などを、確かめてから塗装して下さい。
- ⑪ 塗り面積・乾燥時間は、素材・塗り方・気象条件などに
より異なります。特に塗り面積は、表面状態や吸い込みの違いにより大きく異なります。
- ⑫ 容器は
塗料を使い切ってから捨てて下さい。
- ⑬ やむをえず塗料を捨てるときは、水性・油性兼用塗料固
化剤で固化するが、新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。
- ⑭ 容器を落下させると、中身が漏れることがありますので取扱いに注意して下さい。

下地処理の注意

塗膜のフクレ・ハガレ防止のため、以下の処理をして下さい。

- ① つるつるした面は、サンドペーパーで表面を荒らしてから塗って下さい。
- ② 鉄部に塗る場合は、
ワイヤーブラシなどで浮きサビを落してください。更に防錆性を高める場合は、さび止め塗料を**下
塗り**して下さい。
- ③ コンクリート・モルタルの劣化が激しく、表面がポロポロととれるような場合に
は、必ずアサヒベン油性シーラーまたはアサヒベン強浸透水性シーラーを下塗りして下さい。
- ④ **新しいコンクリートやモルタル面に塗る場合は**、施工後1ヶ月以上経ってから必ずアサヒベン油
性シーラーまたはアサヒベン強浸透水性シーラーを塗って下さい。
- ⑤ **劣化部分・素焼きの鉢**に
は必ずアサヒベン油性シーラーまたはアサヒベン強浸透水性シーラーを下塗りして下さい。
- ⑥ **プラスチック(ポリプロピレン)製の鉢**にはあらかじめアサヒベンプラスチック用プライマーを**下
塗り**して下さい。
- ⑦ **カビがはえている所**は、カビとり剤でカビをとってから塗って下さい。

危険



- 強い眼刺激 ●遺伝性疾患のおそれ
- 臓器の障害
- 水生生物に毒性

救急処置

- 目に入った場合は、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて
下さい。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静
にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石
鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化のあるときは、医師の診察を受けて下さい。

株式会社 **アサヒペン**

大阪市東区見元4-1-12
http://www.asahipen.jp

お客様相談室
☎06-6934-0300

日本製
01-1511